

代表的な減少要因(環境省第3次レッドリストの点検)

代表的な減少要因の分類群別種数及び割合

◆種数

分類群	絶滅危惧種数	減少要因						
		開発	水質汚濁・ 農薬汚染	捕獲・採集	過剰利用等	捕食者侵入・ 食害・競合・ 異種交雑等 <外来種による>	管理放棄	遷移進行
哺乳類	42	31	5	4	1	10	0	1
鳥類	92	61	10	15	12	20	1	3
爬虫類	31	24	1	14	1	17	1	2
両生類	21	21	11	10	2	5	2	0
魚類	144	135	89	37	0	37	8	2
昆虫類	239	131	44	48	6	37	30	13
貝類	377	239	27	54	8	27	1	8
その他無脊椎	56	31	12	6	3	14	0	0
維管束植物	1690	811	43	380	158	12	51	418
蘚苔類	229	131	2	0	14	2	0	2
藻類	110	20	41	0	1	6	3	0
地衣類	60	19	0	0	9	0	1	0
菌類	64	25	0	1	0	2	3	1
合計	3155	1679	285	569	215	189	101	450

◆割合(各要因別種数/分類群別の絶滅危惧種数)

分類群	絶滅危惧種数	減少要因						
		開発	水質汚濁・ 農薬汚染	捕獲・採集	過剰利用等	捕食者侵入・ 食害・競合・ 異種交雑等 <外来種による>	管理放棄	遷移進行
哺乳類	42	73.8%	11.9%	9.5%	2.4%	23.8%	0.0%	2.4%
鳥類	92	66.3%	10.9%	16.3%	13.0%	21.7%	1.1%	3.3%
爬虫類	31	77.4%	3.2%	45.2%	3.2%	54.8%	3.2%	6.5%
両生類	21	100.0%	52.4%	47.6%	9.5%	23.8%	9.5%	0.0%
魚類	144	93.8%	61.8%	25.7%	0.0%	25.7%	5.6%	1.4%
昆虫類	239	54.8%	18.4%	20.1%	2.5%	15.5%	12.6%	5.4%
貝類	377	63.4%	7.2%	14.3%	2.1%	7.2%	0.3%	2.1%
その他無脊椎	56	55.4%	21.4%	10.7%	5.4%	25.0%	0.0%	0.0%
維管束植物	1690	48.0%	2.5%	22.5%	9.3%	0.7%	3.0%	24.7%
蘚苔類	229	57.2%	0.9%	0.0%	6.1%	0.9%	0.0%	0.9%
藻類	110	18.2%	37.3%	0.0%	0.9%	5.5%	2.7%	0.0%
地衣類	60	31.7%	0.0%	0.0%	15.0%	0.0%	1.7%	0.0%
菌類	64	39.1%	0.0%	1.6%	0.0%	3.1%	4.7%	1.6%
合計	3155	53.2%	9.0%	18.0%	6.8%	6.0%	3.2%	14.3%

注：それぞれの要因には下記が含まれる。

開発：要因 11 森林伐採、要因 12 湖沼開発、要因 13 河川開発、要因 14 海岸開発、
 要因 15 湿地開発、要因 16 草地開発、要因 17 石灰等採掘、要因 21 ゴルフ場、
 要因 22 スキー場、要因その他開発、要因 23 土地造成、要因 24 道路工事、
 要因 25 ダム建設

水質汚濁・農薬汚染：要因 31 水質汚濁、要因 32 農薬汚染

捕獲・採集：要因 41 園芸採取・狩猟等、要因 42 薬用採集、要因 43 その他不法採集等

過剰利用等：要因 51 踏みつけ、要因過剰利用

捕食者侵入・食害・競合・異種交雑等<外来種による>：

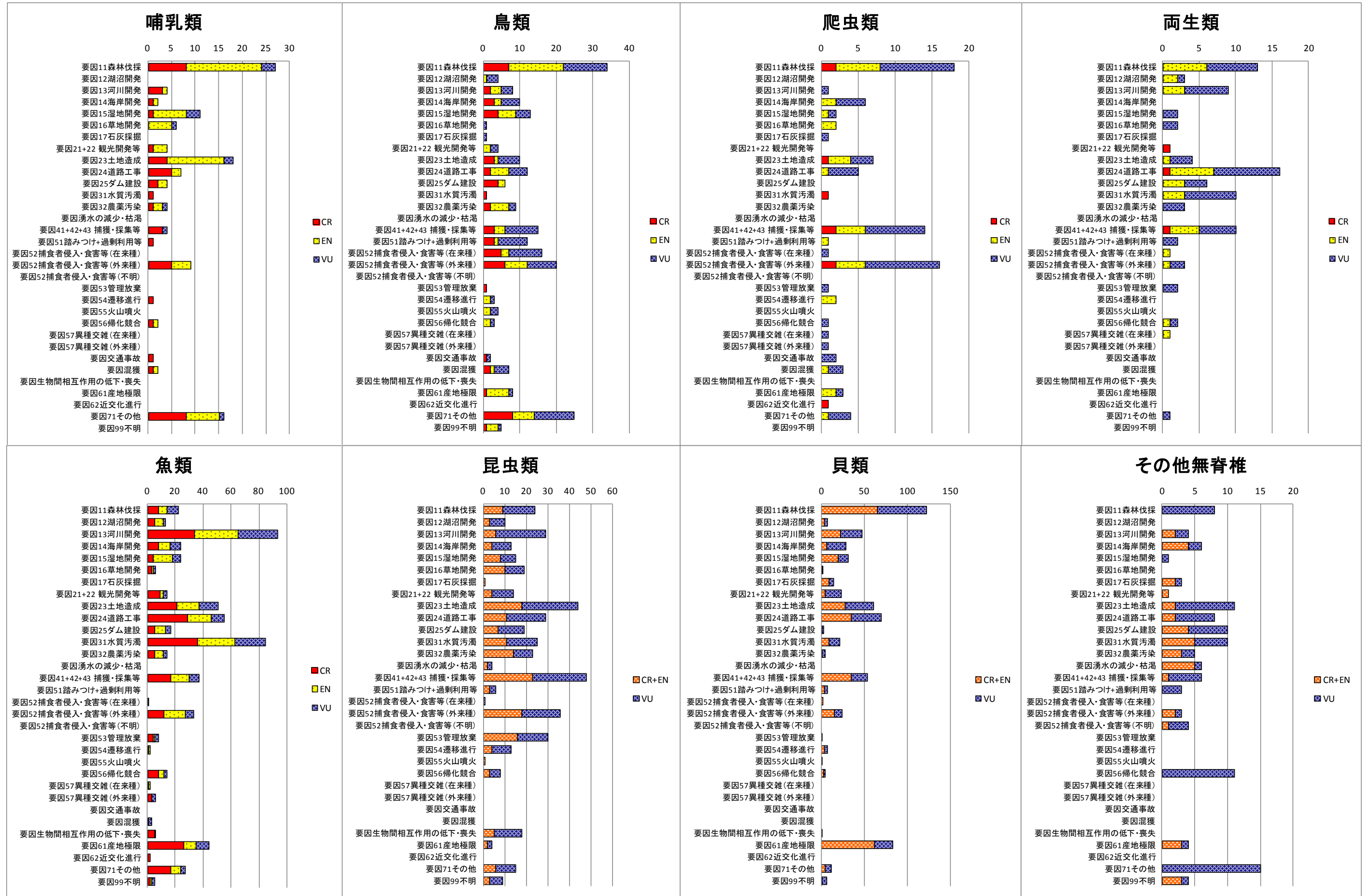
要因 52 捕食者侵入・食害等<外来種による>、要因 56 帰化競合、

要因 57 異種交雑<外来種による>

管理放棄：要因 53 管理放棄

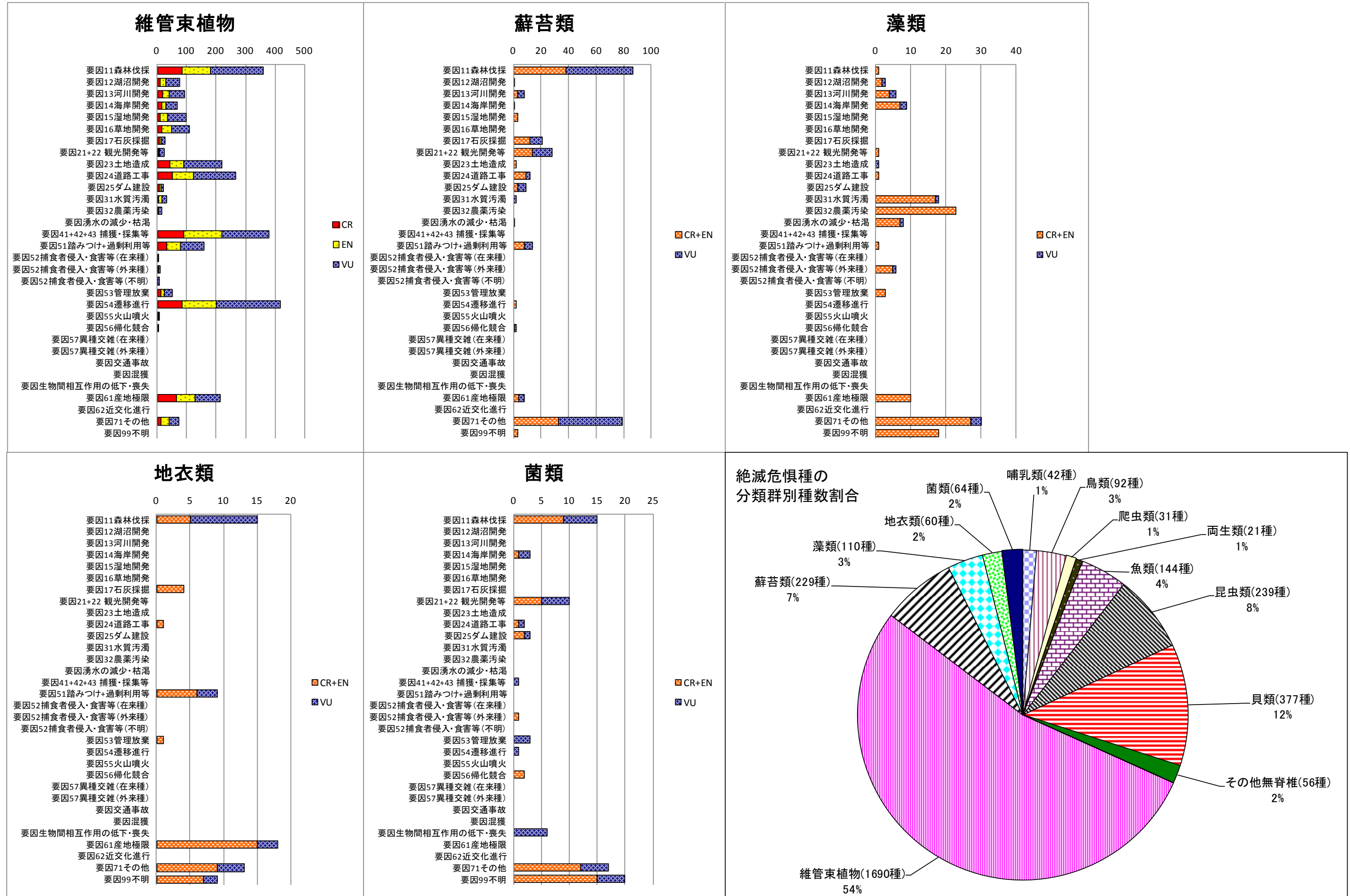
遷移進行：要因 54 遷移進行

絶滅危惧種の分類群別の減少要因（動物）



横軸は種数、1種で複数の減少要因が該当する場合があります。

絶滅危惧種の分類群別の減少要因（植物）



横軸は種数、1種で複数の減少要因が該当する場合があります。